

地域の交流場所の創出(おとな食堂)について

地域振興未来会議委員より提案いただいた表記の件について、提案の内容を深掘りして具体化し、支所で施策検討するため、委員のご意見を伺います。

1 委員提案内容について

・町内の飲食店が閉店するなどして、仲間と夕方に集まって飲食できる店が少なくなってしまった。地域に住んでいる方が夕方に集って、飲食をしながら会話をし、ストレス発散やリラックス出来る場所を作りたい。集まる場所があれば、そこで年齢を越えての交流ができて、活気が生まれると思う。世代を超えて交流出来る場所があれば、地域の年配者からアイデアや知識を若者がもらえる。また、若者は、年配者の課題や意見を聞くことで、町の課題に向き合う事が出来る。

年代を越えて交流をはかり、活気が生まれる町づくりを目指したい。

2 町内飲食店(夜間)の現状について

令和7年11月現在、青谷地域内で夜間営業している飲食店は下記のとおり。

店名	住所	営業時間(※夜間)	備考
小谷旅館	青谷 4015-3	17:00～未定	
松原食堂	青谷 3687	11:00～21:00	
龍園	井手 341	17:00～22:00	事業承継募集中
酒楽つばさ	青谷 4067-1	17:00～21:30	
浜千鳥	青谷 3671-1	11:00～19:00 頃	

(※過去に夜間営業のあった店舗・・・田吾作、まる、居酒屋まるやま、季節料理ごとう、牛鉄青谷店、砂の子、群情、ふるさと 等)

3 青谷ようこそ館での取組

青谷ようこそ館(指定管理者:青谷未来づくり協議会)では、令和7年9月より月1回夜間営業「ようこそ酒場」を開始しており、地域住民の集まる場を創出するとともに、地場産野菜等が集まる施設の強みを生かし、規格外や期限前の商品を活用して食事提供するなどフードロス

に取り組んでいる。



aoyakanko

aoyakanko 緊急告知

明日!!
夜営業します!!
告知が前日になってしまいましたが、
少しでも多くの人に楽しんでもらえたらと思います
ので
是非フラッと遊びにお越しください

この企画は、私たちが指定管理者として
青谷ようこそ館に入る時から考えてまして、
週末に残った野菜の有効活用を図ることで、
フードロスを少なくし、

♡ 💬 📌

👤 tsukuyomi_aoya、他39人が「いいね!」しました
9月26日

😊 コメントを追加... 投稿する



aoyakanko
青谷ようこそ館

aoyakanko 先日は『青谷ようこそ祭り』『青谷さんぽフェス』お疲れ様でした!!!!
ようこそ館へも沢山のご来場ありがとうございました
休む間もなく、今週の土曜は
『ようこそファミリー酒場』です
打ち上げがてら、家族で遊びに来て下さい
大した物をご用意出来ないかもしれませんが、皆さんとワイワイ出来たら嬉しいです!!
お待ちしております

♡ 💬 📌

👤 kamejiri_spice_toya、他23人が「いいね!」しました
10月20日

😊 コメントを追加... 投稿する



令和8年度 青谷地域づくり連絡協議会事業計画書（案）

1. テーマ

「育もう郷土愛 次代に引き継ぐ青谷の魅力」

2. 目 的

青谷地域振興に資するため、青谷地域の豊富な地域資源である自然、歴史文化などの魅力を次代に残すべく地域づくり活動を行うとともに、青谷地域内外に向けて発信する。

3. 事業概要

青谷地域の自然や歴史文化、産業などの地域資源を次代に継承する事業を行う。

（1）郷土芸能保存伝承活動

青谷地域に江戸時代から伝わる郷土芸能「日置はねそ踊」のほか、旧青谷町時代に作られた「ようこそ音頭」などを保存・伝承するため活動する。

（2）鳴り砂保全活動

山陰海岸ジオパークのジオサイトで全国有数の「鳴り砂の浜」と雄大な日本海を舞台に、水上スポーツ体験やビーチならではのさまざまなイベントを行い、大自然の魅力を体感する。

（3）青谷上寺地遺跡学習活動

青谷上寺地遺跡および、青谷地域の自然・歴史・文化・人物伝等を取り上げた講演会を一般公開で開催し、地域のすばらしさを学ぶ。

（4）青谷町物産販売促進活動

町内農業生産物をはじめとする青谷町の特産物をPR販売促進するため、地域でイベントを開催する。また、新たな商品開発などにより、生産者の収入、生産意欲向上を目指し、青谷町の農業など産業の活性化を図る。

（5）青谷の魅力発掘活動

青谷の魅力PRのための青谷の空き家などを活かした町づくりのほか、青谷の魅力発掘・発信のためのイベントなどに取り組む。

（6）観光促進活動

青谷町が持つ資源や産業を生かした観光の促進を目指す。

（7）住民交流促進活動 大人食堂（名称仮）

青谷地域で気軽に立ち寄れる場所を作り、ワークショップや講座等を企画し参加者同士の繋がりや、地域情報の共有、多世代交流の促進を図る。

※ これら事業の実施にあたるため、青谷地域づくり連絡協議会に所属する団体・個人が相互に協力し、青谷地域の活性化を図る。

4. 個別事業計画

(1) 郷土芸能保存伝承活動 実施団体：青谷郷土芸能部

- ・ 目 的

青谷地域に江戸時代から伝わる郷土芸能「日置はねそ踊」のほか、旧青谷町時代に作られた「ようこそ音頭」などを保存・伝承するため活動する。

- ・ 具体的内容

継承者が少なくなっている県指定無形民俗文化財「日置はねそ踊」を保存・伝承するため、関係団体と協力し、講習会の開催、衣装の修繕・新調などを行う。また、青谷町の歴史文化、自然の魅力を取り入れた「ようこそ音頭」を復活し、伝承していくため、講習会の開催、衣装の新調などを行う。

(2) 鳴り砂保全活動 実施団体：あおや鳴り砂ビーチフェスタ実行委員会

- ・ 目 的

山陰海岸ジオパークのジオサイトで全国有数の“鳴り砂の浜”と雄大な日本海を舞台に、この大自然を体感するさまざまなイベントを行う。これらのイベントをとおして、青谷地域の大自然の魅力をかからで感じ取り、それを大切にするところを養うとともに、「自分と自然をつなぐ」ことの大切さや地球環境問題について考える機会とする。

- ・ 具体的内容

- ① SUP体験

サーフボードに立ってパドルで漕ぐSUP（サップ：スタンドアップパドルボード）を体験し、ボードの上から周囲の海や陸の景色などをながめながら水上を散歩、大自然を体感する。

- ・ 日時 令和8年7月 9：00～12：00（予定）

- ・ 場所 井手ヶ浜

- ② あおや鳴り砂ビーチフェスタ2026（vol. 18）

全国有数の“鳴り砂の浜”である青谷海岸で、鳴り砂の浜ならではのさまざまなイベントを行い、大自然を体感する。

- ・ 日時 令和8年10月 8：00～11：00（予定）

- ・ 場所 青谷海岸

(3) 青谷上寺地遺跡学習活動 実施団体：青谷上寺地遺跡クラブ

- ・ 目 的

国史跡青谷上寺地遺跡および、遺跡（考古学）などに拘らない地域の自然・歴史・文化・人物伝等を取り上げ、地域振興に努める。

- ・ 具体的内容

青谷上寺地遺跡および地域の自然・歴史・文化・人物等を取り上げた学習会・講演会を年2回開催する（一般公開、聴講無料）。全国的に有名な講師を予定（佐古和江氏または準ずる人）

(4) 青谷町物産販売促進活動 実施団体：青谷ようこそ館

- ・ 目 的

町内農業生産物をはじめとする青谷町の特産物をPR販売促進するため、地域でイベントを開催する。また、新たな商品開発などにより、生産者の収入、生産

意欲向上を目指し、青谷町の農業など産業の活性化を図る。

- ・ 具体的内容

- ① 町内の施設・事業所等と連携したイベントを開催し、青谷町の特産物をPR販売する。
- ② 町内の生産者・事業所などと連携し、新たな青谷町の特産品開発・販売に向けて取り組む。

(5) 青谷の魅力発掘活動 実施団体：青谷の魅力をPRする会

- ・ 目的

青谷の魅力PRのため、青谷の空き家などを活かした町づくりのほか、青谷の魅力発掘・発信のためのイベントの開催を行う。

- ・ 具体的内容

令和8年度も「青谷さんぽフェス」を開催し、青谷地区内の数カ所のエリアに空き家・空き地などを活用して飲食・物販・音楽のブースを設け、歴史ある青谷町内を回遊してもらい、まちににぎわいをつくる。

日時：令和8年秋に開催予定

場所：青谷地区内

(6) 観光促進活動 実施団体：青谷町観光協会

- ・ 目的

青谷町が持つ自然、歴史文化などの資源や産業を生かした観光の促進をめざす。

- ・ 具体的内容

- ① 青谷町の観光・地域資源等を素材に、青谷町観光協会ホームページを随時更新しながら、青谷町魅力を発信して、認知度の向上を図り、観光誘客を促進する。
 - ② 青谷町内の観光名所を巡るツアーを開催する。
 - ③ 市民ボランティアによる海岸清掃「鳴り砂クリーン作戦」を年2回実施し、観光資源でもある鳴り砂の浜の環境保全を図る。
 - 第1回鳴り砂クリーン作戦
 - ・ 日時 令和8年6月 8:00～9:00（予定）
 - ・ 場所 青谷海岸
 - 第2回鳴り砂クリーン作戦
 - ・ 日時 令和8年10月 8:00～9:00（予定）
 - ・ 場所 青谷海岸
- ＊「あおや鳴り砂ビーチフェスタ2026」ビーチクリーンと兼ねる。

(7) 住民交流促進活動 実施団体名：大人食堂（名称仮）

- ・ 目的

青谷地域で気軽に立ち寄れる場所を作り、参加者同士の繋がりや、地域情報の共有、多世代交流の促進を図る。

- ・ 具体的内容

青谷町内の飲食店や施設を活用し、年数回ワークショップや講座等を開催し、大人向けの居場所をつくる。

⑥ 提案の背景、現状

4月より駅前区の民生委員を行い、単身の高齢者にセンサーライトを配布した。その際に、この数年で、駅前にあった居酒屋が店を閉めたり、店のスタッフが体調を崩す中で、集まれる場所がなくなって寂しいという声を聞いた。青谷町で、仲間と夕方に集まって飲食が出来る店が、少なくなってしまった現状が
る。

⑦ 解決したい課題

地域に住んでいる方が夕方に集って、飲食をしながら会話をして、ストレス発散やリラックス出来る場所を作りたい。集まる場所があれば、そこで年齢を越えての交流ができて、活気が生まれると思う。世代を超えて交流出来る場所があれば、地域の年配者からアイデアや知識を若者がもらえる。また、若者は、年配者の課題や意見を聞くことで、町の課題に向き合う事が出来る。

年代を越えて交流をはかり、活気が生まれる町づくりを目指したい。

⑧ 課題解決のための具体案

こども食堂が全国に展開されているが、おとな食堂があっても良いのではと考える。3ヶ月に1回程度開催し、飲食（アルコールも含む）を食べながら、世代間を越えた交流が出来る。漠然と開催するのではなく、地域の課題、困り感などをキーワードに話を行い、町民が我が町の課題や発展に考える場所があ
ってはどうか。

アルコールを飲むことによってトラブルのリスクがある為、ルールを決めて、そこで他者の批判はせず、お互いに楽しむ事をルールとする。ルールから逸脱し、批判、暴言を吐く方がいれば、退場してもらう。町を活性化する場所として考えていきたい。

店の交渉としては、つばさベーカリー等に相談する。または、カラオケ喫茶弥生に交渉する。